

*エコーウイルス 22 型(NT)髄液		7067000		
L エコ-22NT		担当部署		
検査オーダー		外注		
患者同意に関する要求事項		特記事項なし		
オーダーリング手順	1	電子カルテ→指示①→検査→*2.分野別→感染症・ウイルス→エコー→		
	2			
	3			
	4			
	5			
検査に影響する臨床情報		該当なし		
検査受付時間		8 : 15 ~ 16 : 00		
検体採取・搬送・保存				
患者の事前準備事項		特記事項なし		
検体採取の特別なタイミング		急性期（発病 2~7 日）と回復期（2~3 週）の検体を同時測定し、回復期の抗体価が急性期の結果の 4 倍（41 管差）以上に上昇したとき、血清学的に有意とみなします。		
検体の種類	採取管名	内容物	採取量	単位
1	髄液	3 5 滅菌管	なし	10 mL
2	-	-	-	-
3	-	-	-	-
4	-	-	-	-
5	-	-	-	-
6	-	-	-	-
7	-	-	-	-
8	-	-	-	-
検体搬送条件		室温		
検体受入不可基準		1)採取容器違いの検体 2)バーコードラベルの貼られていない検体 3)固形物		
保管検体の保存期間		検査委託先で 2 週間		
検査結果・報告				
検査室の所在地		株式会社 BML 総合研究所		

		350-1101 川越市的場 1361-1			
測定時間		8～14日			
生物学的基準範囲		設定根拠については外注検査室に問合せ			
臨床判断値		設定根拠については外注検査室に問合せ			
基準値					T
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値
0	1				
パニック値	高値	該当なし			
	低値	該当なし			
生理的変動要因		該当なし			
臨床的意義		外注項目の為省略			